

活動報告

令和元年（2019年）
8月17日発行 第17号

石岡市議会議員

櫻井 茂



■発行／櫻井しげる後援会 ■住所／315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28
■電話／自宅 0299-22-3881 ■FAX／0299-22-3881 ■携帯 080-3150-8451
■WEB <http://www.sakurai.click/> ■E-Mail sakurai@sakurai.click
■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3> **討議資料**

さて、長く涼しい梅雨が続き、農作物の成長にも影響が出たようです。この梅雨明けと同時、猛烈な暑さの夏が訪れ、日本各地で35度を超える猛暑日が続いています。体調管理に十分注意をされ元気にお過ごしいただきたいと思います。水分補給を忘れずに。

6月定例会で令和元年度予算が可決されましたが、道路の補修工事や市の各種事業は3カ月間の停滞を余儀なくされました。市民生活への影響が少なからず表面化していますが、今後の取り組み強化で、影響を最小限にするよう市に求めてまいります。今後とも皆様のご指導よろしくお願い申し上げます。

一、令和元年第2回定例会

(1) 令和元年度予算案可決

3月開催の第1回定例会で平成31年度予算案が賛成少数で否決となったことは前回の活動報告でお知らせしました。

石岡市は、4月・5月・6月分の経費を暫定予算で編成し、行政運営を行ってきました。

6月開催の令和元年第2回定例会において、令和元年度予算案が市長から提案されました。3月の第1回定例会で議員の多くが反対した4つの事業を見直した予算案となり、これを受けて市議会では、議員全員で構成する予算特別委員会を設置して予算案を審議しました。

結果は、付帯決議案を可決して、令和元年度予算案を可決したところです。

(2) 予算特別委員会で付帯決議可決

付帯決議とは、「議案審議のなかで表明された意見をとりまとめた希望、勧告、警告などの表明であり、その実施にあたる行政機関を拘束するものではない。」（全国市議会旬報より引用）

議会としての見解を決議という形で表明し、執行部にその見解を尊重してもらいたいとするものですが、法律上の拘束力はありません。

付帯決議案は、新庁舎建設事業完了後、市民の日である10月1日に「グラントオープン」をお祝いする式典に約6百万の予算を投じることに反対するとした内容です。1月の新庁舎開庁式に続いての経費支出は無駄との指摘に加え、式典が茨城国体日程と重なるとした理由が、式典の計画性の無さを露呈した上、議会軽視と受け止められたことが原因です。

いずれにしても、令和元年度予算案が可決されましたので、滞っていた市の各種事業も3か月遅れでようやく動き出しています。

一、医師不足解消に向けて

(1) 急速に進む医師不足

平成28年12月定例会の一般質問で、石岡市内の産婦人科医師の減少と高齢化で、将来市内で分娩ができなくなる可能性を指摘し対策を求めました。平成29年12月、その心配が現実となり石岡市内では分娩を取り扱う医療機関が無くなりました。昨年、石岡地域市民医療懇談会が開催され、産科医だけでなく小児科医も不足しているとして、ようやく行政が動き出しました。

(2) 遅ればせながらも重い腰を上げた行政

茨城県内の医師の充足率は全国ワースト2位。つくば市と土浦市に数多くの医療機関があるため、県南地域の充足率は県平均を上回っていますが、県南地域最北部の石岡地域は、医師不足に加え、その平均年齢は65歳となり高齢化が顕著です。

茨城県は今年度、医師不足解消に向けた対策強化を宣言しましたが、先行きは不透明です。

令和元年6月20日、石岡地域の各首長及び医療関係者による「石岡地方医療対策カンファレンス」が開催され、今年度中に地域医療計画を策定し、令和2年度から計画に基づく施策を展開することを確認。医療体制の整備に向けて積極的に事業展開する方針が示されました。

(3) 対策案はいずれも課題山積

対策案としては、①現医療機関の機能拡充、②複数の医療機関の再編統合、③新規医療機関の誘致、④その他。が想定され、いずれかを選択することになります。

いずれも、多額の予算に加え、関係者の知恵と努力が求められます。全国的な医師不足の中、短期間で成果が出せるのか注目してまいります。



三、第2回定例会で行った一般質問

(1) 歴史的な文書の保護・保存・活用について

歴史的・文化的価値の高い古文書や公文書の保護・保存・管理について伺います。

(1) 残すべき文書の基準、判断、保存管理の方法について伺います。

総務部長答弁要旨 ファイリングシステムにより管理している。H29年3月に石岡市歴史公文書評価選別基準を策定し、対応している。

教育部長答弁要旨 判断基準は、本市や県の歴史に係る資料等の貴重なものについて受け入れし、市の保管施設に保存している。

(2) 保管場所と保存環境について伺います。

総務部長答弁要旨 公文書の書庫は本庁と支所にあり、段ボールに入れて保管している。

教育部長答弁要旨 文化財管理センターで保管している。劣化を防ぐため一部は中性子の封筒に、古文書等は紫外線やほこりから守るためプラスチックあるいは紙製の保管箱に収納保存している。

(3) 文書の保存管理の在り方について伺います。

総務部長答弁要旨 研修等により判断基準を習得し、適正な保存に努め、次に人材を登用し適正な選定、保管さらには環境の充実について検討する。

教育部長答弁要旨 市職員の対応のほか、古文書に精通した方の協力をいただく。文化財保護審議会の判断を仰ぐなど、保護保存に努める。

再質問 段階を踏んでといった答弁ですが、その間に貴重な文書が廃棄されれば復元できません。市長の見解を伺います。

市長答弁要旨 実践を積むことで精度を上げるこ

とが大事。まずは一歩踏み出して実践していく。

提言 廃棄したら復元できません。迷ったら残すという判断で実践を積んでいただき、適正な保護・保存・管理を行っていただければと思います。

(2) 体育館への空調整備について

温暖化が進む中、昨年7月、気象庁が「命の危険がある暑さ。一つの災害と認識している」と、猛暑は災害と表現しました。学校教育に不可欠な体育館への空調整備について、考えを伺います。

(1) 体育館の空調整備状況について伺います。

教育部長答弁要旨 空調が整備されているのは石岡運動公園体育館だけです。

再質問 体育館が避難所に指定されているのは何か所か伺います。

総務部長答弁要旨 小学校17、中学校7、高校2、運動公園2、ほか4の合計32か所。

(2) 猛暑が体育館活用に与える影響を伺います。

教育部長答弁要旨 「熱中症予防のための運動指針」に基づき各学校が、行事の中止や会場変更の対応をしている。体育館の熱気が滞留しないような対策を実施している。

再質問 「熱中症予防のための運動指針」にある温度と湿度から導かれる係数を計測する計測機器が、体育館に配備されているのか伺います。

教育部長答弁要旨 市内24校中、WBG T計設置校は11、WBG T計と黒球式熱中症指数計を設置する学校が10、合わせて21校に設置している。

再質問 ほとんどの計測機器が、5千円から2万円の間なので、早急に手当てしていただきたい。

昨年の西日本豪雨災害、熊本地震の際、避難所となった体育館の蒸し暑さ対策が大きな課題となっていました。猛暑時の体育館避難をどのように考えているのか伺います。

総務部長答弁要旨 猛暑時に空調設備がない体育館への避難は、館内が高温となり熱中症や食中毒等のリスクも高くなり良好な避難環境とは言えない。しかし経費的な問題もあり整備が進まない。当面は災害協定先からの支援を考えていきたい。

(3) 体育館への空調整備をどのように考えているのか伺います。

教育部長答弁要旨 普通教室への空調整備が完了し、特別教室への空調整備を進めている。体育館への空調整備は多くの費用を要するため、費用対効果や統合再編も含め検討する。

総務部長答弁要旨 あくまでも施設管理者（教育委員会）と協議しながら進めざるを得ない。起きてしまった時は災害協定先からの迅速な支援を受けられるよう調整していきたい。

再質問 結論から言えば、財源があればやりたいということだと思えます。体育館の空調整備に要する費用の把握をされているか伺います。

教育部長答弁要旨 他市の状況では、1体育館で、4千万円から5千万円程度かかると見込んでいます。

再質問 東日本大震災を教訓とした緊急防災・減債事業債は、避難所指定を受けている体育館への空調整備にも活用でき、事業費全額が借り入可能。この内、元利償還金70%は地方交付税で措置されます。自治体の負担は実質3割。ただし、令和2年度までしか活用できません。例えば市内中学校体育館であれば5校です。市長の考えを伺います。

市長答弁要旨 より有利な財源を活用しながら、少しでも良い環境整備を図ってまいりたい。

提言 4千万円から5千万円掛かるものが1千万円少して整備できます。これまでもそうした対応ができたはずですが、気づいていませんでした。期間限定の制度でありますので、市長の権限をも

ってチャレンジしていただき、児童生徒の安全な教育環境と被災者が

が出た場合の対応について、是非二検討いただければと思います。



四. 会派先進地視察（政務活動費）

私の所属する会派「石翔会」（せきしようかい）4名により、政務活動費を活用した先進地視察を7月2日から4日にかけて実施しました。

(1) 唐津ブランドについて

佐賀県唐津市が取り組む「唐津ブランドについて」を調査しました。

ユネスコの無形文化遺産に登録される唐津くんちが有名ですが、観光や産品、産業文化等の数多い地域資源について、提案・審査・



唐津市「曳山展示館」

認証を経てブランド化することで、都市イメージを高め、誇りや愛着を持つように磨き上げ、唐津の個性と独自性のある「唐津ブランド」を確立するための活動を積極的に進めています。

これらの取り組みにより、大都市へのブランド製品の売り込み等がし易くなった。あるいはふるさと応援寄付35億円へと繋がっています。

石岡市も種類が豊富で品質の高い果樹をはじめとする農産物や酒、史跡や豊かな自然等の地域資源に恵まれています。しかし、土地柄なのか、必死感が少なく、地域資源を活かしきれいていません。典型的な例が、「石岡のおまつり」やフラワーパークに訪れる観光客の方々が買って帰る土産物、特に日持ちのする加工品が絶対的に不足しています。

石岡市の地域資源をピックアップし、付加価値を高めるための工夫に知恵を絞り、市は勿論ですが、商業及び農業団体へも、ブランド化に向けた取り組みを促していきたいと考えます。

(2) ICTを活用した教育事業

佐賀県神埼市が取り組む「ICTを活用した教育事業」を調査しました。

少子化による小中学校の統廃合が進む中で、タブレット端末配備等のICT教育の充実に力を入れています。特に、中学3年生に対するグローバル教育事業は、フイリピンの業者と提携し、週2回1対1で、インターネット技術を活用して生徒と現地の方との間で、生の英語で会話・交流する授業を行います。幸いなことに実際の授業風景を教室内で拝見できました。

生徒一人一人がパソコン画面に写った相手と積極的に会話する様は、英語への興味を喚起し、コミュニケーション能力を大いに高める効果があると感じたところです。石岡市は英語圏出身教師の派遣を受けて、各校を順番に回って英語授業を行います。授業回数がじゅうぶんではありません。パソコン教室やインターネット環境は整備されていますので、神埼市のような取り組みを市に求めていきたいと思えます。

(3) 広域設置運営の鳥獣加工処理施設

宗像市・福津市・宮若市の3市と岡垣町が運営する「宗像市外2市1町鳥獣加工処理施設」を調査しました。

捕獲後の鳥獣を円滑・適正に処理できるようにすることで、イノシシ等の捕獲を支援し、農作物被害の減少や住民不安を取り除いています。

また、施設で解体した食肉を買い取り、一般販売する取り組みも行っており、捕獲駆除、解体処理、残渣処分、食肉販売までを手がけています。

石岡市も、イノシシによる農作物の被害が増加しています。捕獲した鳥獣の処理施設があることで、捕獲駆除の意欲が高まり、ジビエ料理の活用が進むのではないかと感じました。

五. 上曾トンネル整備事業の再開

茨城県と石岡市、桜川市が計画し財政難などを理由に中断していた「上曾トンネル整備事業」について、5月19日、上曾トンネル整備事業調整協議会が発足し、事業再開となりました。

(1) 事業概要

全体事業費は総額123億7千万円。（これ以前は概算費用115億円との説明でした）

取付道路を含む全体整備延長は5.58km。この内トンネルの延長は3.54km。

トンネル内の道路幅員は車道3.25mの2車線で両側に75cm路側帯を設けます。

石岡市側の整備延長は2.95km。内トンネル延長が1.94km。取付道路延長が1.01km。これに要する概算費用は、**石岡市負担が71億2千万円**。桜川市の負担は52億5千万円。

石岡市の事業費内訳は、トンネル本体工事が47億2千万円、トンネル設備工が12億6千万円、トンネル調査・設計等が1億4千万円、取り付け道路工事が10億円となっています。

(2) 財源内訳

石岡市負担分の財源内訳は、以下のとおりです。今後、詳細な設計や工事着工により数字が動くことが予想されますが、石岡市の実質負担である**市単独分**は、全体事業費の**5%弱**です。

完成予定は、合併特例債（交付税措置）の活用期限である令和7年度を見込んでいます。

朝日トンネルはトンネル延長が1.78km、全体事業費が65億円。上曾トンネルは、規模が倍ということになります。

国補助(50%)	35億6,000万円
県補助(11.725%)	8億3,482万円
交付税(33.25%)	23億6,740万円
市単独(5.025%)	3億5,778万円
石岡市合計	71億2,000万円

六. 安全安心まちづくり市民大会

暴力団排除の推進や防犯等の理解を深め、意識の高揚を図り、犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会を実現することを目的に「石岡市安全安心まちづくり市民大会」が開催されました。

会場の市民会館には、800名を超える各種団体関係者が集まり、反社会的勢力に対して、毅然とした態度が大切とする講演には、来場者の皆さんが真剣に耳を傾けていました。

茨城県警察本部が発表している令和元年6月末の市町村別犯罪認知率ですが、石岡市は茨城県内44市町村中、第4位に位置しており、残念ですが、犯罪が多い地域ということになります。私たちの身の回りには、常に危険が潜んでいますので、十分に注意しましょう。

順位	市町村名	刑法犯総数	前年比	千人当たりの犯罪率
1	土浦市	754	3	5.408
2	神栖市	439	△46	4.611
3	阿見町	214	△4	4.499
4	石岡市	327	△25	4.426
5	つくば市	1042	8	4.396

七. 市議選への異議申し出は棄却

(1) 市選管の対応には疑問も

市議選で落選した大槻勝男氏が提出した選挙結果に対する異議申し出に対して、「無効票は適正な開票結果」として、6月20日に市選管が異議を棄却したことを6月21日の茨城新聞が報じました。

5月20日の大槻氏の訴えから市選管が審査に要したのはひと月です。予想通りの結果とは言え開票結果が適正との理由ならば、ひと月も待つ必要は無いと思います。更に、訴えの対象者である私に対して、市選管から何の連絡もなかった点は、少なからず疑問を持ったところです。

八. 令和元年第3回定例会

(1) 議会を傍聴しませんか

令和元年第3回定例会は8月27日開会です。新庁舎が完成し駐車場も整備されました。議場は、傍聴席から質問者である議員の表情が見えるように、大型モニターが設置されています。是非とも傍聴席から、議員と市長のやり取りを見ていただきたいと思います。

いずれの会議も午前10時開始となります。議場や委員会室の設備が新しくなり、スマートフォンやタブレット、パソコンを利用し本会議の生中継、さらには会議1週間後を目安に会議録画を閲覧することが可能となりました。会議録では伝わらない、発言者の声の抑揚や感情表現等、是非ご確認下さい。

令和元年第3回定例会日程

月日	曜	会議内容
8月27日	火	開会
28日~9月1日		休会
9月2日	月	一般質問
9月3日	火	一般質問
9月4日	水	一般質問
9月5日	木	議案質疑
9月6日	金	教育福祉環境委員会
7日・8日		休会
9月9日	月	総務委員会
9月10日	火	経済建設消防委員会
9月11日	水	議会運営委員会
9月12日	木	採決・閉会

(2) 議会報に議員の賛否と出欠状況を掲載

議会の審議状況をお知らせする議会報ですが、第70号から、議員個々の議案に対する賛否が掲載されます。また、会期中の本会議及び委員会の出欠状況も掲載される運びとなり、各議員の活動状況の一端をお知らせできることになりました。

九. 石岡のおまつり

(1) 年番は國分町 交通規制にご注意願います

新たな御代・令和元年の石岡のおまつり（常陸國総社宮例大祭）は9月14日・15日・16日の3日間にわたり実施されます。今年の年番は國分町です。國分町は例年の祭りでは交通規制区域外になります。そのため、参加者と見学者の安全確保の観点から交通規制エリアを大幅に拡大します。

大神輿が鎮座する御仮殿を旧NTT石岡支店跡地に設けることから、今年は府中3丁目交差点から御仮殿前まで、さらに國分寺参道が交通規制となります。加えて、供奉行列が府中3丁目交差点を通過する時間帯は、泉橋からイベント広場間の道路が交通規制され、車両侵入禁止となります。広報いしおかに折り込まれている交通規制の案内図を十分にご確認の上で、お出かけください。

令和元年の今年、観光客数60万人達成となるよう、関係者の一人として努力してまいります。

(2) 年番國分町の祭典委員長を務めます

祭礼まで残すところわずかとなりました。15年に一度の年番を迎えるため、祭りの資金確保、組織体制の確立、神事の内容分析等、多岐にわたる準備を数年前から、町内の方々と一緒に進めてきました。私は、年番町の祭典委員長として安全かつ円滑な祭りの進行を願うその任にあたります。厳しい暑さが和らぐこと、天候に恵まれることを期待しつつ、14日（神幸祭）及び16日（還幸祭）には、宝刀をお預かりして供奉行列に加わります。皆様のご協力と、ご声援を頂ければ幸いです。

